

全議員9名で考える

新年度予算の注目点や課題は？

最小の費用で最大の効果をあげることができるか。
今後、事業が適正に行われているか注視していきます。



酒向
勤議員

児童生徒学校給食支援事業で無償化される

子育て支援を充実し、家庭の負担を軽減して生活体験学習などで学力向上を図っては。



石田
利美議員

令和8年から民設民営で新たな福祉施設が建設

昨年度決算で公債費率は道内145番だが、令和12年以降は50番以内まで悪化が想定。



小野田
久美子議員

健全財政の推進で安定した町民サービス

物価高や社会保障費、人件費、インフラ整備等で歳出が増加。更なる事務事業の見直しを。



池澤
哲也議員

有害鳥獣対策、クマ対策 猟友会との連携強化を

年々増加する農作物被害や、クマの目撃情報。地元猟友会との連携で徹底した対策を。



村岡
敏一議員

ふるさと納税の戦略的取り組みは

返礼品拡充や物価高を考慮した開発費等の要件緩和の必要性と、事業周知徹底も視野に。



窪田
裕一議員

「夢が育つまちへ」のまちづくりの第一歩

ふくまち事業は「未来へとつなぐまちづくり」の第一歩。町民に、より一層な丁寧説明を。



斉藤
祐揮議員

産後ケア事業の今後に期待

今年度から宿泊型の産後ケアが増えるが、更に手厚い妊産婦ケアの拡充を。



長澤
裕子議員

住民と行政顔の見えるつながりを

新年度の各事業が持続可能な財源に裏付けられ、町民生活に継続して届くかを注視。



遠山
優太議員

広がる支援から次の一歩へ

おでかけハイヤー支援の充実を土台に、より使いやすい地域公共交通の仕組みに期待。